

# 事業評価調書〔新規要求公共事業〕

<様式1>

評価対象事業名	河川改修費(公共)(総合流域防災事業)		
長崎県総合計画上の位置づけ	戦略	9	快適で安全な・安心な暮らしをつくる
	施策	(4)	災害に強く、命を守る県土強靱化の推進
	事業群	⑤	地震、大雨、台風、高潮などの自然災害に備えた施設整備など防災対策の推進

作成年月日	令和元年 11月 27日		
事業所管	土木部	河川課	
	河川防災班	(内線)	3084
課(室)長名	浦瀬 俊郎		

## 1. 事業の概要

事業概要	<p>&lt;事業の主な実施内容&gt;                  流下能力向上のために河道拡幅、河床掘削、護岸工、堰改築、橋梁架替などを行う。</p>								
	<p>&lt;国の主な採択基準&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定区間内の一級河川又は二級河川において施工される改良工事</li> <li>洪水による被害が防止される区域内の家屋が5戸以上。</li> <li>総事業費が1億円以上のもの</li> <li>改良工事による費用便益比が1以上であるもの。</li> </ul>								
	<p>&lt;負担区分&gt; (%)</p> <table border="1"> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>地元</th> </tr> <tr> <td>50</td> <td>50</td> <td></td> </tr> </table>	国	県	地元	50	50		<p>&lt;県費の継ぎ足し&gt;  <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p>	
国	県	地元							
50	50								

## 2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	<p><b>【基本方針】</b>                  本県は毎年台風や梅雨前線豪雨などによる被害を受けていることから、河川はん濫による浸水被害を防止するため、治水施設等のハード対策やダム情報基盤整備等のソフト対策を進め、自然災害に強い安全な県土づくりに向けて着実な推進を図る。</p> <p><b>【事業評価の視点】</b>                  ①河川の規模、②流域の社会的重要性・将来像、③想定される被害、過去の災害、④経済効果の4項目を総合的に考慮。</p>
---------	---

## 3. 令和2年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	瀬川	対馬市
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

令和2年度新規要求箇所評価調書(河川改修費(公共)(総合流域防災事業))

<様式2>

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業主体	事業完了 予定年度	事業概要 (上段:全体、下段:R2)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R2)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合評価
					事業費	国費	県費		市町村費等			
							県債	一般財源				
せがわ 瀬川	対馬市	県	R21	全体計画延長 L=2,000m 河道拡幅、河床掘削、護岸工、堰改築、橋梁架替	2,700,000	1,350,000	1,215,000	135,000	0	瀬川は長崎県対馬市南部の厳原町を流れる流域面積約18km <sup>2</sup> 、幹川流路延長約7kmの二級河川である。 本川は流下能力が不足する区間が多く存在し、特に中流部には家屋等が集中する豆酸瀬・佐須瀬地区の中心部が存在することから、早期に河川改修を実施し、治水安全度の向上を図るものである。	平成27年9月1日の豪雨災害を受け、豆酸瀬及び佐須瀬地区から河川改修の要望書が提出されている。	A
				測量、調査、設計	20,000	10,000	9,000	1,000	0			
合計					2,700,000	1,350,000	1,215,000	135,000	0	費用便益比 B/C=5.66 > 1.00	負担割合 国:県:地元=50%:50%:00%	
					20,000	10,000	9,000	1,000	0			